

「武道推進モデル校」事業を活用した 複数種目（空手道・柔道）の実践

本校は札幌市に隣接する北広島市内の大規模団地であり、令和4年度の生徒数は1学年36名、2学年35名、3学年44名の計115名である。校区内には、竹葉公園・緑葉公園をはじめ、大小さまざまな公園があるなど、自然環境や諸施設に恵まれた地域である。

令和3年度に「武道等指導力向上事業柔道等授業支援事業」に係る武道推進モデル校の指定を受け、体力向上や武道指導の充実を図ってきた。本校における「空手道」と「柔道」の授業の取り組みを紹介する。

北海道北広島市立緑陽中学校
教頭 折田 道啓
みちひろ



校舎全景

1 授業の概要

本校はこれまで、北広島市学校支援地域本部による外部人材のサポートを受け、武道授業で空手道に取り組んできた。令和3年度は、武道等指導武道等指導力向上事業柔道等授業支援事業に係る武道推進モデル校の指定を受け、「空手道」と「柔道」の授業を実施し、体力向上や武道指導の充実を図った。

モデル校事業では、地域の指導者と連携し、生徒の意欲を高め、相手を尊重しながら段階的に学ぶ授業を展開するために、地域在住の有段者を外部指導者として活用。本校教員との連携の下、専門的な知見を生かした武道指導の実施、指導計画などの改善・充実を図る指導体制の確立を狙った。

(1) 多様な武道の指導モデル

本校の保健体育科では例年、1・2学年の生徒を対象として武道に取り組んでいる。令和3年度は1学年33名、2学年44名の計77名を対象とし、下記で示した計画で授業を展開した。

授業は学年ごとに実施。オリエンテーション、柔道に関する基本動作や受け身などの基本的な学習は、主として本校担当教員が指導し、空手道の授業は、本校教員の指導の下、外部指導者に実践的な指導をしていただいた。

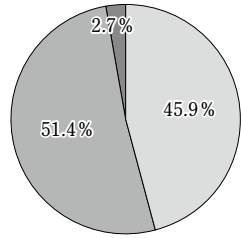
(2) 指導の工夫

▼効果的に指導するための工夫
・校区内在住の有段者を外部指導者として活用し、本校教員とのチーム・ティーチングにより指導することで、安全で効果的な

令和3年度 武道授業単元計画

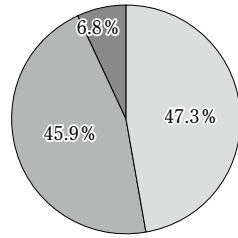
時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
種目	柔道		空手道							
学習の流れ	導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の学習見通し）									
	準備運動									
	基本動作の学習		基本動作の学習						学習のまとめ	
	受け身の学習		対人技能の学習							
	整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）									

Q. 2種目の武道（または柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



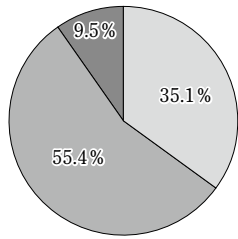
■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった □ 深まらなかった (回答なし)

Q. 2種目の武道（または柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった □ 高まらなかった (回答なし)

Q. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない □ 思わない (回答なし)

また、地域の人材を活用し、限られた条件下ではあるものの、地域の方々と触れ合う体験となり、開かれた学校づくりにつながるとともに、伝統や文化を学び、地域を誇りに思える生徒の育成にもつ

4 成果と課題

アンケートでは、「武道への関心が高まったか」という問いに対する肯定的な回答の割合は93・3%、また、「2種目の武道を学習したことで理解が深まったか」という問いに対する肯定的な回答の割合は97・3%であった。

自由記述においても、肯定的な

意見が多く、新型コロナウイルス感染症の拡大により、近距離で授業を進めることが難しい状況の中、他者と一定の距離を置いての実施ではあったものの、生徒たちには意義深いものとなったことが読み取れた。

外部指導者の専門性を生かした指導により、生徒の学習への意欲を高めるとともに、相手を尊重する態度の育成が図られたこと、チーム・ティーチングでの指導体制により、安全で効果的な指導ができたことが成果として挙げられる。

また、地域の人材を活用し、限られた条件下ではあるものの、地域の方々と触れ合う体験となり、開かれた学校づくりにつながるとともに、伝統や文化を学び、地域を誇りに思える生徒の育成にもつ

なかつた。さらに、外部指導者の専門的な指導などにより、生涯スポーツに対する関心・意欲を高めるうえでとても有効であった。

課題としては、本校における今後の複数武道種目の実施に向けて、生徒にとつてより教育効果の高い種目について検討を進める必要がある。今後も、武道の複数種目に取り組むことで、地域や日本の伝統・文化の良さを感じられるよう、さらに充実した実践を目指したい。

2 授業の様子



【空手道】3人組で基本形を披露



【空手道】2人組で基本形を行う

▼外部指導者による指導
技の名称や行い方について、生徒の理解の促進や技能の向上を目

的として、専門性を有する外部指導者が模範を示しながら説明を行った。

指導となるよう工夫した。
・タブレット端末を活用して生徒が「形」などを撮影し合い、より正確な動きに近付けられるよう、互いに教え合い学び合うことができるよう工夫した。

▼生徒の安全を確保するための工夫
・事故や怪我を防止するための指導を徹底した。
・新型コロナウイルス感染症対策として、状況に応じて適宜マスクを着用させた。

3 生徒の意識・感想と変容

▼アンケートの結果から
・空手の形を覚えることは難しかったけれど、上手にできた時はとてもうれしかった。
・外部講師の先生の形がとても上手だと感じた。
・礼儀の大切さ、気合の大切さや重心のかけ方などを学ぶことができた。
・基本形なのに、とても奥が深く

難しいと感じた。
・武道の歴史について知ることができた。
・武道に対して怖いイメージを持っていたが、かつこよくて強いイメージを持てたのでまた学習したい。
・礼儀を重んじることは、自分の身を守るためのものであるということがわかった。

▼安全に配慮した対人技能の学習
対人技能の学習では、一定の距離を保つなど、怪我などのリスクに十分配慮して指導を行った。
▼空手道授業
空手道では、2名の外部指導者にお世話になった。「礼に始まり礼に終わる」という教えの通り、相手を尊重して敬意を表す所作が求められること、練習の始めと終わりには心を込めて相手に礼を行うことが大切であることを生徒た

ちに指導した。
その後、正座、座礼、立礼といった礼法や立ち方の指導に続き、上段受け、下段受けといった「受け」、また「突き」や足の運び方についての指導を踏まえながら、一斉形式による基本形の指導を行った。
後半は、2人一組での組手やグループ形式での練習などをスムーズに指導していただいた。